

田原市生涯学習推進計画策定の概要

（策定の目的）

◎「田原市教育振興基本計画」を、より効果的に実現するために、生涯学習の方向性を定めるもの。

（策定のポイント）

◎人づくりのキーワードを「学び＝学習」として捉え、「学びを通じた絆づくり」を、生涯学習の重要な視点として、「田原の人づくり」に取り組む。

◎学びの還元

（社会貢献につながるよう、田原の人・自然・歴史・伝統文化等から学んだ成果を、多くの人に広める）

1 策定の趣旨

急速な社会変化に伴う課題が顕在化するなか、生涯学習の役割は、個人の趣味や技能の向上に加え、社会への貢献につながる学びなど、多種多様なものに及んできました。

田原市でも、今日的な諸課題に対応した21世紀を生き抜く人づくりを目指し、平成22年3月に「田原市教育振興基本計画」を策定するなど、学びの環境整備に努めてきました。

「田原市生涯学習推進計画」は、「田原市教育振興基本計画」をより効果的に実現するために、行政と市民がそれぞれ担う役割を考えながら、生涯学習推進の方向性を定めるものです。

2 計画の位置付け及び期間

当計画は、「田原市教育振興基本計画」の個別計画として位置付け、上位計画における方向性等を踏まえ、生涯学習推進の考え方・体系を明らかにするものです。

計画の期間は、平成24年度から平成28年度までの5年間とします。

3 計画の目指す方向性

（1）基本理念

「ふるさとに学び 人がつなぐ 田原の人づくり」

（2）推進の視点(分野横断的に取り組む視点)

基本理念を実現するため、生涯学習推進の視点を4つに整理し、「学びを通じた絆づくり」に取り組めます。

①いつでも どこでも 学べる環境づくり

市民のニーズに応じた多種多様な学びの機会や情報を提供します。また、学習活動の拠点づくりや学習活動に取り組む団体等が利用しやすい場づくり、インターネットなど情報通信技術の活用等に努めます。学びたいときに、いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくりを進めます。

②社会全体の教育力の向上

社会変化に対応し、時代を切り拓く人をつくるためには、すべての教育の出発点である家庭の教育力の向上が必要です。あわせて、家庭、地域、団体、事業者、学校等が特色を出しあい、連携・協力しあう地域社会全体の教育力の向上が重要です。地域社会全体で人を育てる環境づくりを進めます。

③学びの還元

学びの効果は、少しでも多く「意図的な学び」を意識することで、より高まります。また、個人や団体での学びから一歩踏み出し、学びで得た成果を他の人の学びに活かすことで、人や社会と関わりが強まり、自己の充実、さらには、地域社会全体の教育力の向上や地域の活性化につながります。個人の学びの成果を地域社会全体に還元できる人づくりと共有できる仕組みづくりを進めます。

④生きがい・心の豊かさの実現

文化活動やスポーツ活動、社会貢献等の活動は、生きがいを感じたり、心を豊かなものにしてくれたりします。あわせて、学ぶ過程で地域社会全体の活力が高まるなど、効果を高めあうことができるため、生涯に渡って学ぶ意欲を持ち続けることが重要です。学ぶことで、心身の充実や社会貢献につながる学びの環境づくりを進めます。

（3）施策の体系

取り組む施策の方向性を、「学ぶ機会の充実」「学びを活かす機会の充実」と、それを支える「学びの支援の充実」の3つに整理し、その下に具体的に取り組む施策を示します。

①学ぶ機会の充実

急激な社会変化のなかで時代を切り拓く力を身に付けることができるよう、また、多様化・高度化・専門化する市民の学びへのニーズに応えるため、関係機関との連携・協力を図りながら、人生の様々な場面における学びの機会を充実します。

②学びを活かす機会の充実

学びから得た成果を、他の人の学びや社会に活用することで、学びを通じた絆が深まります。成果を地域社会に還元できる人づくりや共有できる仕組みづくり、発表機会等の環境整備に努め、学びの成果を還元する機会を充実します。

③学びの支援の充実

市民の学習活動を支え、利用しやすい施設運営に努めます。また、手軽に入手できる情報、社会全体による学習支援のネットワーク化等の環境整備を図り、市民の学びの支援を充実します。

（参考）（施策の体系図）

